

メタリックガーディアン キャンペーン「TWW」 6話 セッションレポート

PC名：シャトー・ヒルフォード

PL名：えど

・PC から見た 6 話

今回は鳳市沖の海中に謎の熱源が発生したという事でその調査に赴くことになった。調査に赴く前に現在の世界の情勢をフォーチュンの司令から確認したがラーフと出雲以外はガリスディアに押され気味であるようだ。非常に複雑な気分だ。ただローレシアの地球連邦首都（ニューバビロンでしたっけ）が陥落したという知らせは我々‘地球人’にとっては非常に重いものだった。いち早くガリスディアどもを地球圏から排斥しなければ。

さて、鳳市沖の謎の熱源が確認された場所には 1 次大戦期の施設があるという情報を手に入れた我々は調査へと向かうことにした。施設にたどり着くとそこには 2 つの研究所があった。当艦所属のリンケージ、橘ヒナタ君が第 2 研究所へ向かうことを強く希望していたため、まず第 2 研究所の方から調査を行うことにした。

部屋に入ると、そこはどうやらスターゲイザー関連の研究を行っていた場所らしく、さらに一部のシステムがまだ生きていることがわかった。そこで残っていたシステムに録音されていたと思しきメッセージを聞くことになったが、それによるとどうやら橘ヒナタ君はこの研究所に関係があるようで、しかも木星付近から運ばれた(?)らしい。強化人間だという事で過去には様々な事情があるのだろうと思ってはいたが、これは想像以上だ。

その音声を聞き終わると第 1 研究所のほうから轟音が響き、謎の熱源の正体である巨大怪獣がその姿を現していた。その怪獣と一緒にデスティニーのガーディアンが確認された。子の機体の持ち主曰く、この怪獣を目覚めさせたのは彼らしい。まったくはた迷惑だ。この星の危機に同じ地球人同士でいがみ合っている暇などないというのに。

・GM への要望

お疲れさまでした。次回はライブ回でしたっけ、楽しみです。トゥーレ関係解決したら宇宙に行く感じですかね、レムリアって舞台になったりします？

・PL の感想

無限ティール恐ろしい...